

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

## 記号表示について

- △ 記号：危険、警告または注意を示します。
- 記号：禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
- 記号：行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

## ！警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または本紙16ページのご相談窓口にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり異常なにおいや煙が出た場合は、すぐに電池を本体から抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または本紙16ページのご相談窓口に点検をご依頼ください。

## ！注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



電池は+/-の極性通りに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。



不安定な場所に立てない。

機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



電池は幼児の手の届かない所に保管する。

口に入れたりすると危険です。



本体を移動するときは、必ず電源を切り、接続ケーブルを外した上で行う。また、接続ケーブルを踏まないように注意する。

コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。また、コードの断線や、接続の外れによる機器の損傷、耳への衝撃などのおそれがあります。



長時間使用しない場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



本体のお手入れの際、ベンジンやシンナー、洗剤、化學ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。

本体が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。聴覚障害や感電または機器の損傷のおそれがあります。



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損する原因になります。



直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォン(イヤホン)を使用しない。聴覚障害の原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。

電気回路の影響により、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

長時間使用しないときは、必ず出力端子に何も接続しない状態にしておきましょう。

# ごあいさつ

このたびはヤマハサイレントベースをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。サイレントベースの機能を充分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書と共に大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

\* 保証書は本取扱説明書日本語部の15ページにあります。

## 目 次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 安全上のご注意 .....        | 2  |
| 本体/付属品 .....         | 4  |
| 本体各部の名称 .....        | 5  |
| 演奏準備 .....           | 7  |
| ■ 調弦について .....       | 7  |
| ■ 側板ユニットの取り付け .....  | 9  |
| ■ エンドピンについて .....    | 10 |
| ■ ソフトケースへの収納 .....   | 10 |
| ■ 弦の交換について .....     | 11 |
| ■ ミュートについて .....     | 13 |
| ■ オプション商品の取り付け ..... | 13 |
| 電源の準備 .....          | 14 |
| 本体仕様 .....           | 15 |
| 保証書とアフターサービス .....   | 16 |



### 音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。

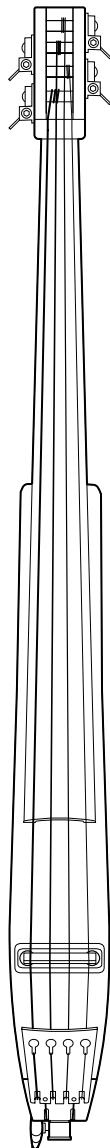
静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わず所で迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつ的方法です。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

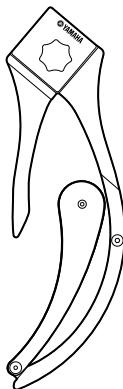
# 本体/付属品

パッケージを開けたら、本体および付属品を確認してください。

● 本体



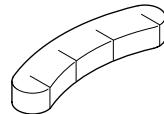
● 側板ユニット



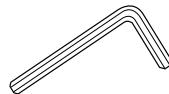
● エンドピン



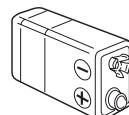
● ミュート



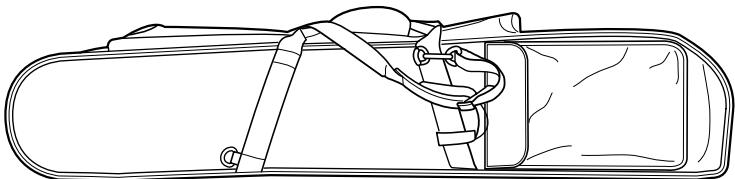
● 六角レンチ



● 6F22(S-006P)  
9V乾電池×1個



● ソフトケース



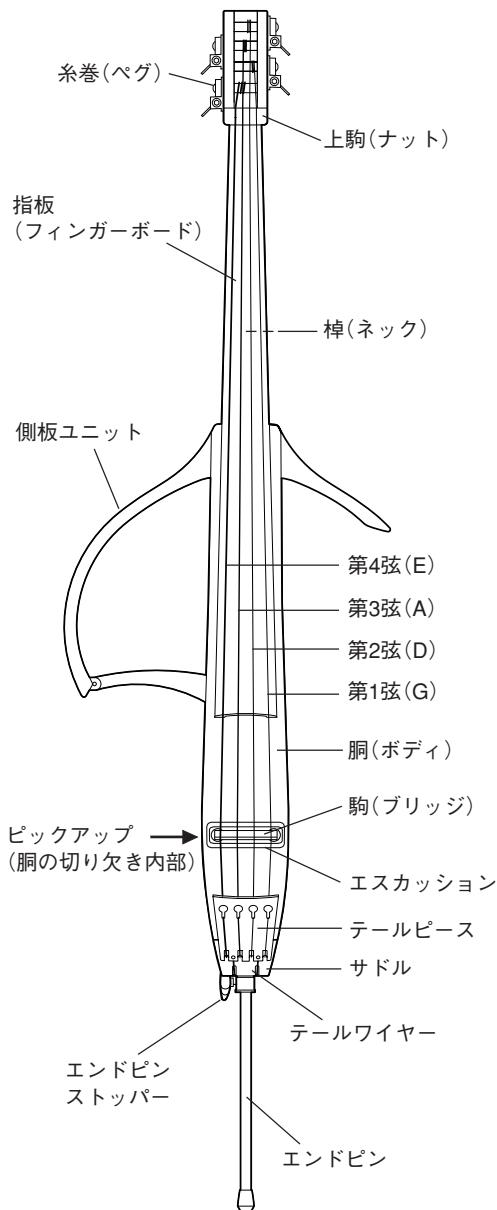
## オプション商品の紹介

- ・サイレントベース用スタンド(BST1)
- ・サイレントベース用ひざ当て(BKS2)
- ・サイレントベース用延長フレーム(BEF2)

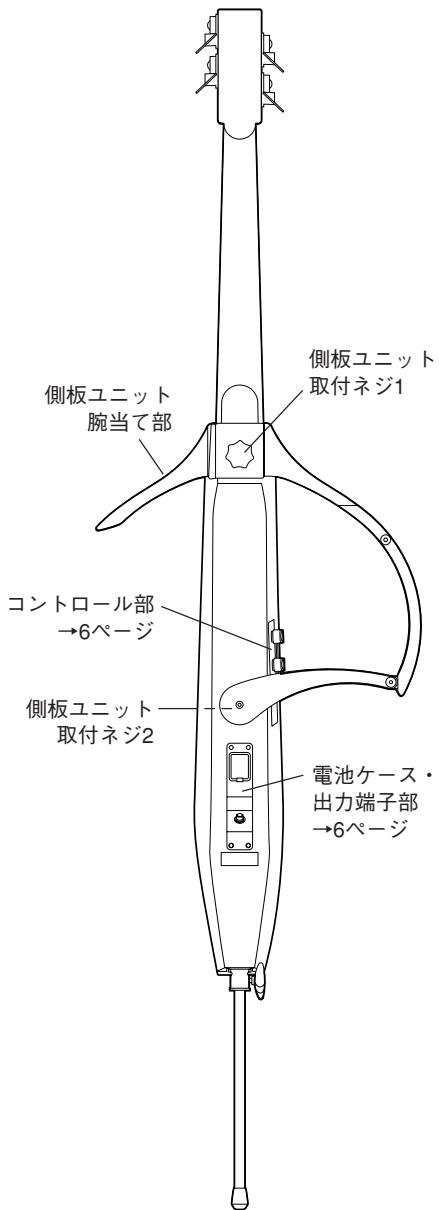
上記オプション商品をお求めの場合は、販売店にご相談ください。

# 本体各部の名称

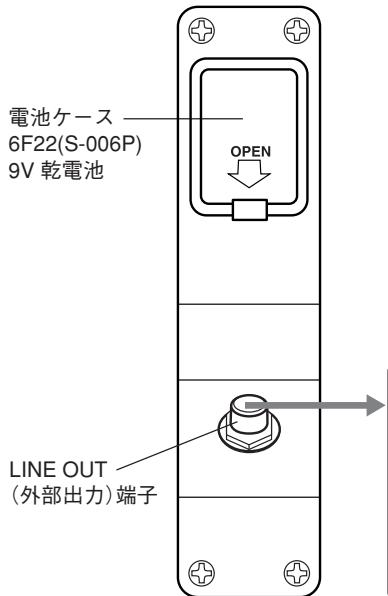
## ●フロント部



## ●リア部

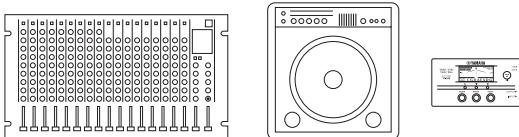


## ●電池ケース・出力端子部

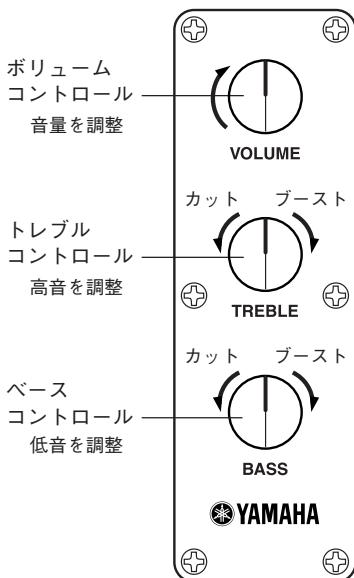


- 本楽器は出力端子に直接ヘッドフォンを挿入しても音は出ません。
- 出力端子への接続は、必ずモノラルの標準フォーンプラグケーブルを使用してください。ケーブルを差し込むことにより電源がONする回路になっていますので、ステレオやバランスなど端子が3分割されているケーブルを使用すると、楽器や接続した機器が正常に動作しなかったり、場合によっては破損するおそれがあります。

ミキサー、録音機器、ベースアンプ、パワードスピーカー、電子チューナーなど



## ●コントロール部



1. 出力端子にモノラルの標準フォーンプラグのケーブルを挿入することにより、電源がONの状態になります。

- 本楽器は省電力の為、電源ONを示すランプ等は装備していません。
- 接続は、ベースアンプ・パワードスピーカーなどの出力ボリュームを絞るか電源をOFFにした状態で行ってください。

2. 演奏してVOLUMEノブを回し、適度な音量になるように調整します。

- 強く弾いた際に音が歪む場合は、VOLUMEノブを少し左に戻してください。

3. TREBLEノブで高音の音質を、BASSノブで低音の音質を、調整(ブースト/カット)することができます。

- TREBLEおよびBASSノブをブースト側に回した場合、音が歪むことがあります。その場合はひずみの原因となったノブを少し左に戻してください。

# 演奏準備

## ■ 調弦について

出荷時、サイレントベースの弦は通常の調弦状態よりゆるめてあります。

駒の高さは標準的な高さに調整してあります。

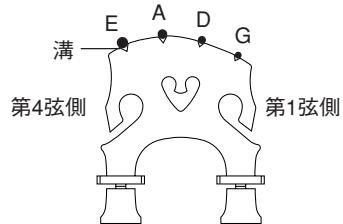
駒の位置は輸送中にずれる場合もありますので、正しい位置に調整した上で、調弦してください。

- 駒は上部の山が低い方が第1弦(G)側、高い方が第4弦(E)側です。横から見て大きくカーブしている面が、指板側(演奏時に上側)になります。【図1】

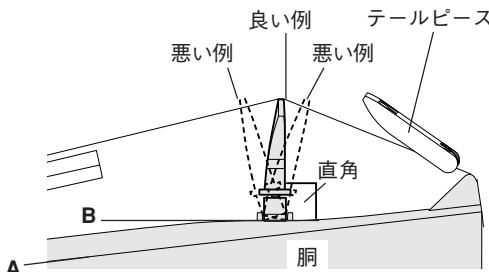
- 駒は、テールピース側の面が、駒の乗る面に対して垂直になるのが正しい位置です。【図2】

※ 駒の脚の側面がエスカッション(プラスチックの部品)に接触しない位置に配置してください。

- サイレントベースの駒は、高さを調整することができます。金属性のダイヤルを時計方向に回すと低くなり、反時計方向に回すと高くなります。【図3】

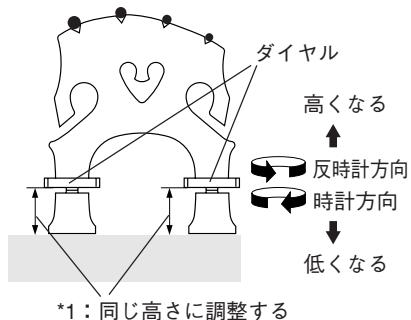


【図1：テールピース側  
から見た図】



※ 脳の上下合わせの面(上図A)と駒の乗る面(上図B)は平行ではありません。駒の垂直を確認する場合は、必ず駒の乗る面(上図B)に対して行ってください。

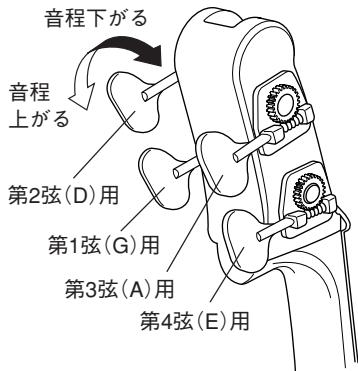
【図2：駒は垂直に立てる】



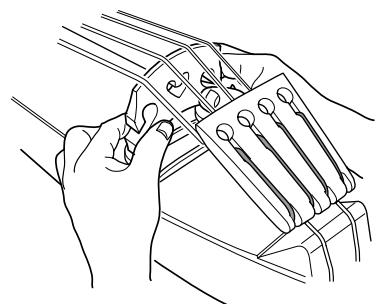
【図3：駒高さの調整】

- 駒の高さ調整は、必ず弦をゆるめて、ダイヤルを回すのに大きな力が必要ない状態にしてから行ってください。弦の張力が通常のままで、無理にダイヤルを回しますと、駒や弦などの損傷の原因となります。
- 駒は、両方の脚の高さが必ず同じになるように調整してください。両方の脚の高さが違う状態で弦の張力を上げると、駒の底面が正しく接地せず、音質劣化や雑音、駒の損傷などの原因となります。(図3. \*1)

- 調弦は、第1弦がG音、第2弦がD音、第3弦がA音、第4弦がE音です。  
ピアノや音叉、チューナーなどの音に合わせて、糸巻を回してチューニングしてください。

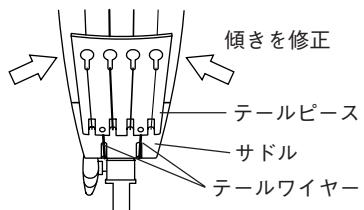


- 調弦後、駒のテールピース側の面が、駒の乗る面に対して垂直になっていることを確認してください。傾いている場合は弦を少しゆるめてから、駒を両手でそっと起こしてください。
- 調弦後、正面から見てテールピースが傾いている場合は、すべての弦を少しゆるめてから、テールピースがまっすぐになる様に手で直します。その後、全弦の張力をなるべく均等に上げていき、調弦し直します。(下図参照)



### 注意!

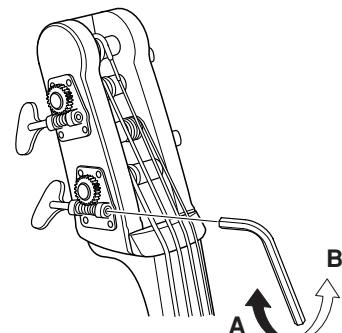
テールワイヤーが、正しくサドルの溝にはまっていることを確認してください。



### ● 糸巻のトルク調整

付属の六角レンチを使って、糸巻の回転トルクを調整することができます。

- ・トルクが弱く、軽い接触などでツマミが回ってしまう場合  
→ 調整ネジを右(時計方向 : A)に回す。
- ・トルクが強く、チューニングがスムーズに行えない場合  
→ 調整ネジを左(反時計方向 : B)に回す。



## ■ 側板ユニットの取り付け

出荷時、側板ユニットはサイレントベース本体から外してあります。

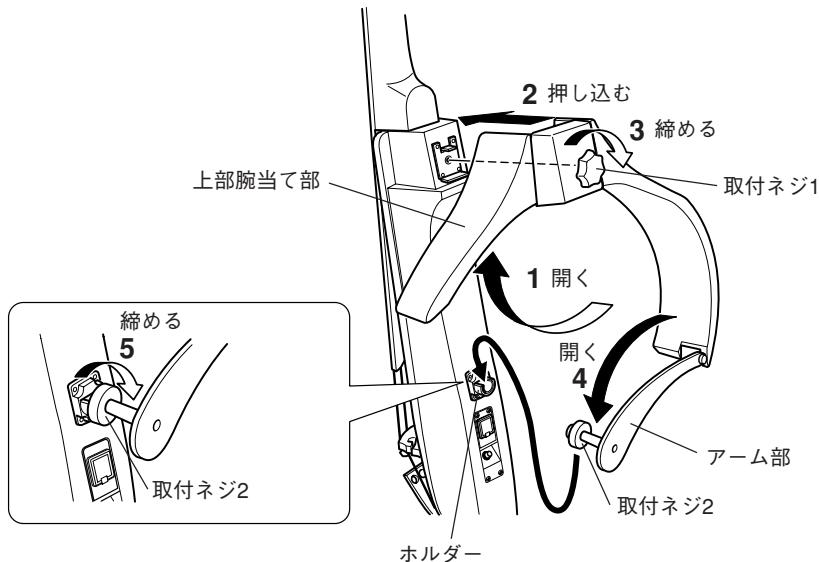
以下の手順で側板ユニットを本体に正しくセットしてからお使いください。

1. 側板ユニットの上部腕当て部を、ストッパーが当たるところまで開きます。
2. 側板ユニットの「取付ネジ2」が付くアーム部を閉じた(はね上がった)状態で、側板ユニット上部のくぼみをベース本体上部の肩に乗せるようにゆっくりと押し込みます。
3. 「取付ネジ1」を締め付けます。
4. アーム部を反時計方向に回転させて開き、「取付ネジ2」部をベース本体のホルダーに挿入します。
5. 「取付ネジ2」ネジを締め付け、ベース本体に固定します。

**!** 可動部を動かす際、指や手などをはさまないよう、充分注意してください。

これで、側板ユニットの取り付けは完了です。

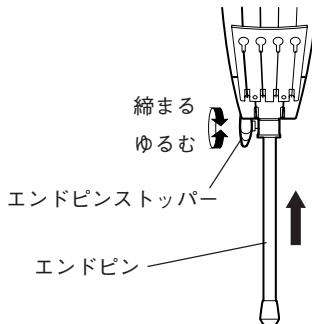
取り外す場合は、上記と逆の手順で行ってください。



- 取付ネジ1, 2は確実に締めてください。ゆるんだ状態でお使いになると、演奏時にガタついたり、雑音が発生したりする原因となります。
- 楽器の移動の際は、ネックおよびベース本体ボディを持ってください。側板ユニットのみを持つて楽器を持ち上げると、側板ユニット故障の原因となります。

## ■ エンドピンについて

出荷時、エンドピンはベース本体とは別にソフトケース内に収納されています。使用する前にエンドピンストッパーをゆるめ、エンドピンを挿入し、演奏しやすい高さの位置でエンドピンストッパーをしっかりと締めて固定します。

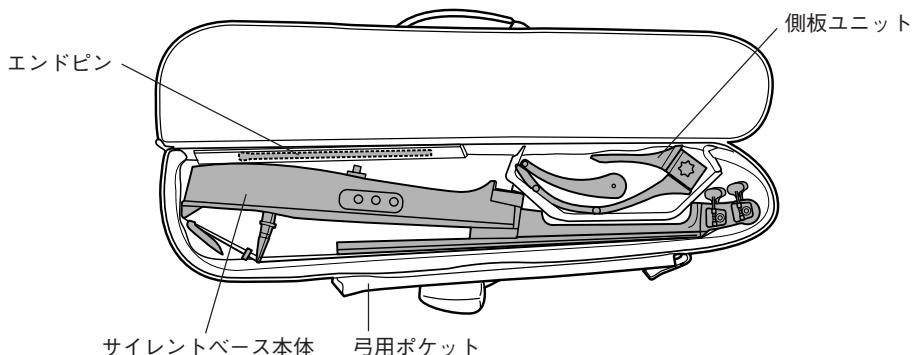


- 演奏中に楽器が落下しないよう、エンドピンストッパーは確実に締めて固定してください。
- エンドピンは最適な演奏性を実現する為に、ベース本体に対して斜めに取り付けられており、奥まで挿入することができません。無理にそれ以上に挿入しようとしたり、衝撃を与えたりするとベース本体内部が破損するおそれがあります。エンドピンの出し入れはゆっくりとていねいに行ってください。

## ■ ソフトケースへの収納

付属の専用ソフトケースに収納する場合は、サイレントベースから側板ユニット、エンドピンを外し、下図のようにして分けて入れてください。

- エンドピンは、ケース内のマジックテープでしっかりと固定してください。
- 弓を収納する際は、必ず弓用のハードケースに入れた上で、ソフトケースの弓用ポケットに入れてください。



ソフトケースは、駒など各部品の損傷を保障するものではありません。

ソフトケースは、あくまで携帯しての移動用、および楽器をホコリなどから守るための収納ケースです。駒面を下にして置いたり、物を乗せる、ぶつけるなど、衝撃を与えた場合には内部にある楽器及び付属品が破損することがあります。

## ■ 弦の交換について

弦は古くなると、音質が劣化し、調弦しても音程が合わなくなります。

弦が古くなったと感じたら、早めに新しい弦に交換しましょう。

弦は、弦長1,040mm(41インチ)に適合する、市販のコントラバス用弦をお買い求めください。

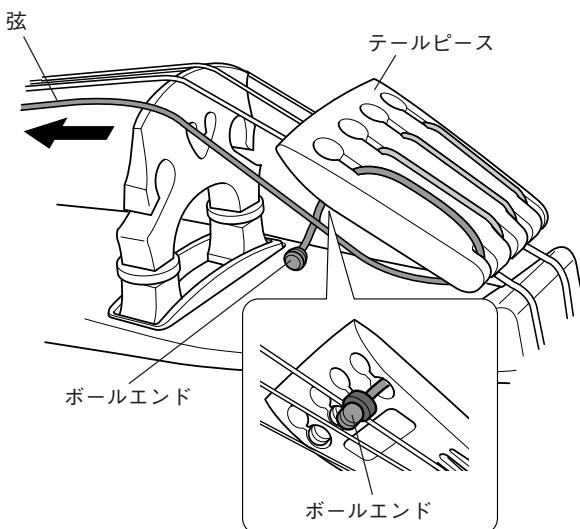
- 弦は一度にすべて外さず、必ず一本づつ交換してください。
- 弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気を付けてください。
- 弦の交換や調整の際、顔を楽器に近づけすぎないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬがの原因となることがあります。

## 弦の巻き方

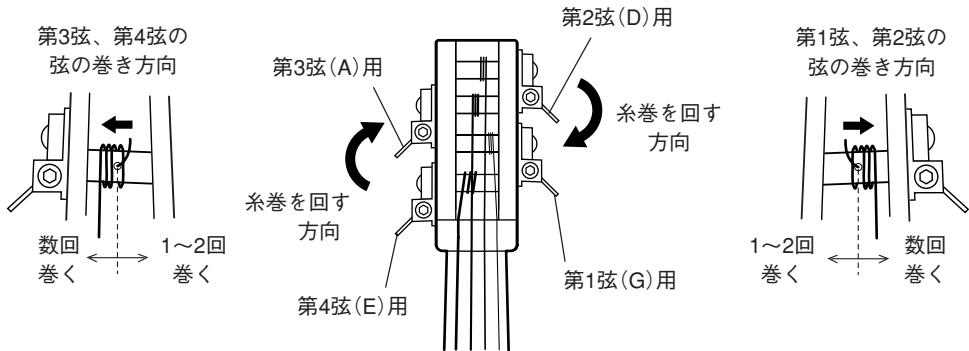
1. 弦の端のボール(ボールエンド)をテールピースの弦穴に引っ掛けます。この時、弦穴の溝にボールエンドを確実に収めてください。

\* ボールエンドが弦穴よりも大きい場合は、テールピース裏側から弦を通してください。

2. 弦をテールピース表側の面ぞいにエンドピン側へ引っ張り、テールピース端の溝に引っかけてからテールピース裏側に回し、次にブリッジに向けて張っていきます。



3. 弦を糸巻きの穴に通したら、糸巻きを回し、下図のように穴の片側に1~2回巻いてから穴のもう一方の側に巻いていきます。1~2回巻く側は、第1弦(G)、第2弦(D)は向かって左側、第3弦(A)、第4弦(E)は向かって右側です。



- 糸倉内側の壁に弦が当たらないように、弦端の余り長さを調整してください。  
弦が壁に強く当たった状態で調弦すると弦切れなどの原因となります。

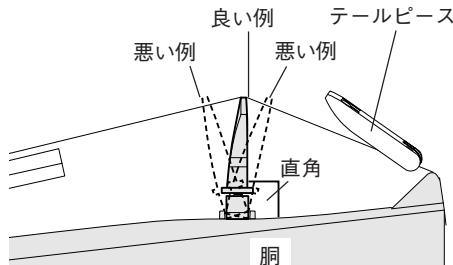
この時、駒が弦に引きずられて指板の方向に倒れないように注意してください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まるようにセットしてください。

\* 駒は、テールピース側の面が、駒の乗る面に対して垂直になるように立ててください。

4. ピアノや音叉、チューナーなどの音に合わせて、糸巻きを回してチューニングします。

\* “■ 調弦について”(7ページ)の注意事項をご覧ください。

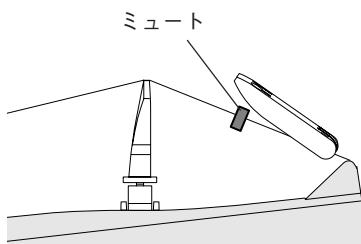
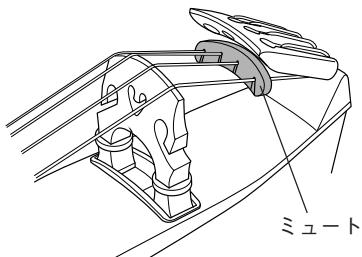
- 楽器を長時間使用しない時は、弦を少しゆるめて保管してください。
- 駒は常に駒の乗る面に対して垂直に立った状態であることを確認した上でお使いください。  
傾いた状態で使用すると、駒の寿命を縮めたり音質劣化の原因となります。



## ■ ミュートについて

ヤマハサイレントベースは、楽器の構造上、駒とテールピース間の弦振動をピックアップが拾い、余音として残る場合があります。その音が気になる場合は、付属のミュートを下図のような位置に取り付けてください。

\* 駒とテールピース間の1/2付近の位置にミュートを取り付けると、ミュート効果が減少してしまいます。ご注意ください。



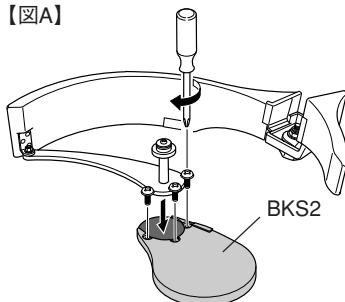
## ■ オプション商品の取り付け

### 【サイレントベース用ひざ当て(BKS2)】

サイレントベース用ひざ当て(BKS2)は、スツールなどに腰掛けて演奏する際に、左ひざで楽器を支えるためのオプション部品です。

下図Aのように、ひざ当てのくぼみに合わせて側板ユニットの金属部分をあてがい、3ヶ所のネジをガタつきがないようにしっかりと締め付けて固定します。

【図A】

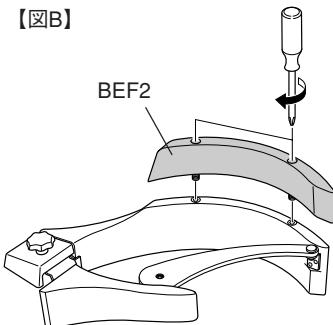


### 【サイレントベース用延長フレーム(BEF2)】

サイレントベース用延長フレーム(BEF2)は、側板ユニットの幅を延長して、楽器をより支えやすくするためのオプション部品です。

下図Bのように、2ヶ所のネジをガタつきがないようにしっかりと締め付けて固定します。

【図B】



- オプション部品の取り付け/取り外しは、側板ユニットをベース本体から取り外して安定した場所に置いた上で、行ってください。
- 演奏の前に、オプション部品の取り付けにガタつきがないか確認してください。

# 電源の準備

サイレントベースは、電源として乾電池を使用します。

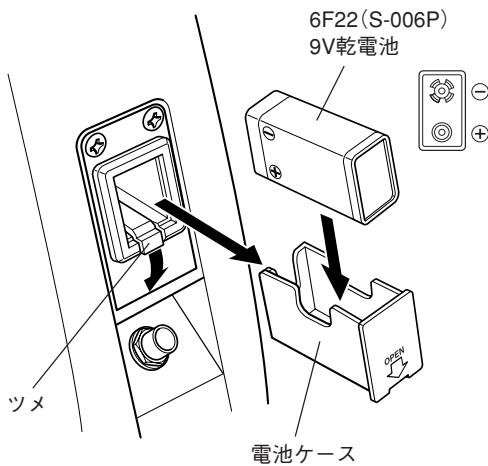
乾電池の出し入れをする際は、出力端子からケーブルを抜いてください。

1. 本体裏面にある電池ケースの、“OPEN”の矢印方向にツメを押し下げると電池ケースが出てきます。

- 電池ケースを取り出す際、楽器本体の角度によっては電池ケースが飛び出す場合がありますので、ご注意ください。

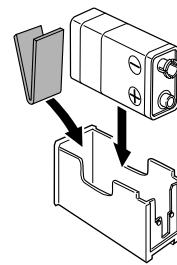
2. 付属の乾電池(6F22(S-006P)9V乾電池)をケースに入れます。イラストを参考に、向きと極性(+/-)を間違えないように入れてください。

3. 電池ケースをパチンと音がする所まで完全に押し込みます。



## 乾電池を入れる際の注意

付属品以外の電池の中には、寸法が短いため通電(電源が入らない)しない場合があります。そのような時は、下のイラストのようにバッテリーケースの底の部分に、厚紙などのスペーサーを挟んでご使用ください。



電池が少なくなると、音が歪んだりノイズが発生したりします。このような時は以下のことに注意して乾電池を交換してください。

- 乾電池は+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発火するおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておいてください。乾電池が消耗し、液漏れにより本体を損傷するおそれがあります。



# SILENT Bass

## SLB200LTD

### 取扱説明書補遺

Owner's Manual Addendum  
Ergänzung zur Bedienungsanleitung  
Addendum au mode d'emploi  
Allegato al manuale d'istruzioni

WW50670 1010R0 Printed in Japan

### 日本語

同梱取扱説明書の「コントロール部」と「本体仕様」は、こちらを  
ご参照ください。

- ① ボリュームコントロール：音量を調整します。時計方向に回すと音量アップ。
- ② トレブルコントロール：高音を調整します。時計方向でブースト、反時計方向でカット。
- ③ ベースコントロール：低音を調整します。時計方向でブースト、反時計方向でカット。
- ④ アクティブ/パッシブダイレクト切替スイッチ：内蔵ブリアンプのバイパススイッチです。ACTIVE側にセットすると、ブリアンプおよび①～③のコントロールが有効になります。

PASSIVE DIRECT側にセットすると、ピエゾピックアップ出力がLINE OUT端子に直接出力されます。ブリアンプおよび①～③のコントロール回路は機能しない(ボリュームは固定値)ので、電池がない緊急の場合や、お手持ちのブリアンプ等で独自の音作りをされる場合にお使いください。

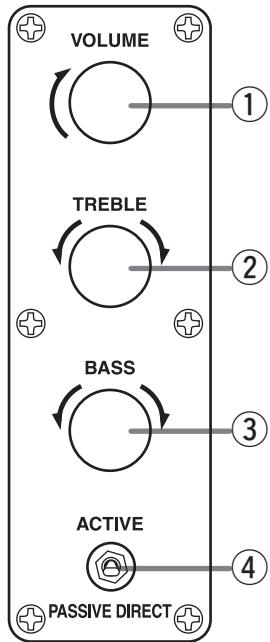
※ スイッチ切替時にノイズが発生する場合があります。スイッチの切替は、外部アンプ等の音量を下げてから行なってください。

※ PASSIVE DIRECT側にセットした場合、接続ケーブルの長さに比例して信号出力が減衰します。ACTIVE側ではケーブル長による減衰はほとんどありません。

### ■ 本体仕様

※製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。

棹：メイプル 脣：スプルース+マホガニー 指板：エボニー 駒：メイプル(高さ調整可能) 側板ユニット：ブナ+アルミ他 金属部品：糸巻：ウォームギア方式 テールピース：エボニー(リバース方式) 弦：コントラバス用弦(ボールエンドタイプ) センサー：ピエゾピックアップ コントロール：ボリューム、トレブル、ベース、アクティブ/パッシブダイレクト切替スイッチ 電源：ケーブルの抜き差しによるパワーON/OFF、9V乾電池(6F22(S-006P)/6LR61)×1個 電池寿命(通常連続使用時間)：マンガン乾電池で約1,000時間、アルカリ乾電池で約2,000時間 弦長：1,040mm(41インチ) 寸法(LxWxH)：組立後寸法(側板ユニット取付、エンドピン最短状態)1,698×456×330 mm、ボディ本体寸法(側板ユニット、エンドピン共に取り外し状態)1,392×122×230 mm、側板ユニット寸法(折畳み状態)465×145×129 mm 重量：約6.9kg



### English

Please refer to this sheet in regard to the "Controls" and "Specifications" sections in the supplied manual.

- ① **Volume Control:** Adjusts the instrument's volume. Turn clockwise to increase the volume.
  - ② **Treble Control:** Controls the instrument's high frequency output. Turn counter-clockwise to cut high frequencies or clockwise to boost.
  - ③ **Bass Control:** Controls the instrument's low frequency output. Turn counter-clockwise to cut low frequencies or clockwise to boost.
  - ④ **Active/Passive Direct Switch:** This is the bypass switch for the internal preamp. Setting the switch to the ACTIVE position activates the preamp and controls ① – ③. When set to the PASSIVE DIRECT position, output from the piezo pickup is sent directly to the LINE OUT jack. Since the preamp and controls ① – ③ do not function (the volume is set to a fixed value) when set to PASSIVE DIRECT, this setting is useful in emergencies when battery power is depleted, or using an external preamp, etc., for finer sound tailoring.
- \* Noise may be produced when switching the switch. Please reduce the volume on the external power amplifier before switching.
- \* When set to PASSIVE DIRECT, signal strength is attenuated in proportion to the length of the cable. When set to ACTIVE, there is little attenuation.

### ■ Specifications

**Neck:** Maple **Body:** Spruce + Mahogany **Fingerboard:** Ebony **Bridge:** Maple (height is adjustable) **Frame Unit:** Beech + parts of Aluminum, etc. **Tuning Pegs:** Custom Worm Gear Type **Tail Piece:** Ebony (reverse type) **Strings:** Contra Bass Strings (Ball-end type) **Sensor:** Piezo Pickup **Controls:** Volume, Treble, Bass, Active/Passive Direct Select Switch **Power:** Power switched ON/OFF with connection/disconnection of cable. 1 x 9V battery (6F22(S-006P)/6LR61) **Battery Life (Continuous Use):** Using Manganese battery: approximately 1,000 hours, Using Alkaline battery: approximately 2,000 hours **String Length:** 1,040 mm (41") **Dimensions (L x W x H):** Size including attachments (with the Frame Unit and End Pin at its shortest) 1,698 x 456 x 330 mm (66-7/8" x 17-15/16" x 13"), Size of Main Body (without Frame Unit and End Pin) 1,392 x 122 x 230 mm (54-13/16" x 4-13/16" x 9") Size of Frame Unit (when folded) 465 x 145 x 129 mm (18-5/16" x 5-11/16" x 5-1/10") **Weight:** approximately 6.9 kg (15 lbs. 3 oz.)

### Deutsch

Die Informationen auf diesem Blatt ersetzen die Abschnitte „Bedienelemente“ und „Technische Daten“ in der Bedienungsanleitung.

- ① **Lautstärkeregler:** Regelt die Lautstärke des Instruments. Beim Drehen im Uhrzeigersinn nimmt die Lautstärke zu.
  - ② **Höhenregler:** Regelt den Pegel der vom Instrument ausgegebenen hohen Frequenzen. Beim Drehen gegen den Uhrzeigersinn werden die hohen Frequenzen gedämpft, beim Drehen im Uhrzeigersinn werden sie verstärkt.
  - ③ **Tiefenregler:** Regelt den Pegel der vom Instrument ausgegebenen tiefen Frequenzen. Beim Drehen gegen den Uhrzeigersinn werden die tiefen Frequenzen gedämpft, beim Drehen im Uhrzeigersinn werden sie verstärkt.
  - ④ **Aktiv-/Passivumgehungs-Wahlschalter:** Dies ist der Umgehungsschalter für den internen Vorförstärker. Bei Einstellung auf ACTIVE ist der Vorförstärker aktiviert und das Signal durchläuft die Regler ① bis ③. In der Position PASSIVE DIRECT wird das vom Piezo-Tonabnehmer ausgegebene Signal direkt an die LINE OUT-Buchse geleitet. Da in der Position PASSIVE DIRECT der Vorförstärker und die Regler ① bis ③ umgangen werden (als Lautstärke wird ein fester Wert vorgegeben), kann sie bei leerer Batterie im Notfall verwendet werden und eignet sich auch für den Einsatz eines externen Vorförstärkers, wenn eine exaktere Klangabstimmung gewünscht ist.
- \* Beim Verstellen des Schalters können Störgeräusche erzeugt werden. Vermindern Sie daher die Lautstärke am externen Verstärker, bevor Sie den Schalter verstehen.
- \* Bei Einstellung auf PASSIVE DIRECT erfährt das Signal eine zur Kabellänge proportionale Dämpfung. In der Position ACTIVE ist die Dämpfung geringer.

### ■ Technische Daten

\* Änderungen der technischen Daten und des Designs vorbehalten.

**Hals:** Ahorn **Körper:** Fichte und Mahagoni **Griffbrett:** Ebenholz **Steg:** Ahorn (höhenverstellbar) **Rahmen:** Buchenholz mit Teilen aus Aluminium usw. **Stimmwirbel:** Spezieller Mechanismus mit Schneckengetriebe **Saitenhalter:** Ebenholz (In Gegenrichtung angeordnet) **Saiten:** Kontrabassäsen (mit Kugel an einem Ende) **Sensoren:** Piezo-Tonabnehmer **Bedienelemente:** Lautstärkeregler, Höhen, Tiefen, Aktiv-/Passivumgehungs-Wahlschalter **Stromversorgung:** Instrument wird beim Anschließen/Ziehen des Kabels ein-/ausgeschaltet. Entweder 1 x 9V-Batterie 6F22(S-006P)/6LR61 **Batterie-Lebensdauer (Dauerbetrieb):** mit Manganbatterien : ca. 1.000 Stunden, mit Alkalibatterien : ca. 2.000 Stunden **Saitenlänge:** 1.040 mm **Abmessungen (L x B x H):** Größe mit angebrachten Teilen (Rahmen eingeclappt und Stachel eingefahren) 1.698 x 456 x 330 mm, Größe des Korpus (ohne Rahmen und Stachel) 1.392 122 x 230 mm, Größe des Rahmens (eingeklappt) 465 x 145 x 129 mm **Gewicht:** ca. 6.9 kg

### Français

Veuillez vous reporter à cette feuille pour les sections des "Commandes" et des "Fiche technique" du mode d'emploi fourni.

- ① **Commande de volume:** Ajuste le volume de l'instrument. Tournez la commande dans le sens des aiguilles d'une montre pour augmenter le volume.
  - ② **Commande des aigus:** Commande la sortie des hautes fréquences de l'instrument. Tournez la commande dans le sens contraire des aiguilles d'une montre pour couper les hautes fréquences ou dans le sens des aiguilles d'une montre pour les accentuer.
  - ③ **Commande des graves:** Commande la sortie des basses fréquences de l'instrument. Tournez la commande dans le sens contraire des aiguilles d'une montre pour couper les basses fréquences ou dans le sens des aiguilles d'une montre pour les accentuer.
  - ④ **Commutateur Actif/Passif direct:** C'est le commutateur de dérivation pour le préamplificateur interne. Mettre le commutateur sur la position ACTIVE met en service le préamplificateur et les commandes ① à ③. Quand il est sur la position PASSIVE DIRECT, la sortie du capteur piézoélectrique est envoyée directement à la prise LINE OUT. Puisque le préamplificateur et les commandes ① à ③ ne fonctionnent pas (le volume est réglé sur une valeur fixe) quand le commutateur est sur PASSIVE DIRECT, ce réglage est pratique dans les cas d'urgence quand la batterie est déchargée ou de l'utilisation d'un préamplificateur externe, etc. pour un meilleur contrôle du son.
- \* Du bruit peut être produit lors de l'utilisation du commutateur. Veuillez réduire le volume sur l'amplificateur de puissance externe avant de changer la position du commutateur.
- \* Quand le commutateur est réglé sur PASSIVE DIRECT, la force du signal est atténuée proportionnellement à la longueur du câble. Quand il est réglé sur ACTIVE, il n'y a qu'une faible atténuation.

### Fiche technique

\* Sous réserve de modifications sans préavis.

**Poignée:** Érable **Table d'harmonie:** Épicéa + Acajou **Touches/Chevilles:** Ebène **Cheveta:** Érable (la hauteur est réglable) **Cadre d'instrument:** Hêtre + pièces en aluminium, etc. **Chevilles d'accordage:** Type à vis sans fin perspicile **Cordier:** Ebène (type inversé) **Cordes:** Cordes de contrebasse (à embout à boule) **Capteur:** Capteurs piézoélectriques **Commandes:** Volume, Aigus, Basses, Commutateur de sélection Actif/Passif direct **Alimentation:** Alimentation activée/désactivée par branchement/débranchement du câble. Double source d'alimentation par 1 pile de 9 volts 6F22 (S-006P)/6LR61 **Autonomie des piles (utilisation continue):** Avec des piles au manganèse : Environ 1 000 heures. Avec des piles alcalines : Environ 2 000 heures **Longueur de corde:** 1 040 mm (41 pouces) **Dimensions (L x I x H):** Dimensions y compris accessoires (avec le cadre et la pique au plus court) 1 698 x 456 x 330 mm, Dimensions du corps de l'instrument (sans cadre ni pique) 1 392 122 x 230 mm, Dimensions du cadre d'instrument (réplié) 465 x 145 x 129 mm **Poids:** Environ 6,9 kg

### Italiano

Per quanto riguarda le sezioni "Controlli" e "Dati tecnici" del manuale in dotazione, consultare il presente allegato.

- ① **Controllo del volume (VOLUME):** consente di regolare il volume dello strumento. Va girato in senso orario per aumentare il volume.
  - ② **Controllo degli acuti (TREBLE):** consente di controllare l'emissione delle alte frequenze. Va girato in senso antiorario per ridurre il livello delle alte frequenze, in senso orario per aumentarle.
  - ③ **Controllo dei bassi (BASS):** consente di controllare l'emissione delle basse frequenze. Va girato in senso antiorario per ridurre il livello delle basse frequenze, in senso orario per aumentarle.
  - ④ **Interruttore attivo/attivo diretto (ACTIVE/PASSIVE DIRECT):** Questo è l'interruttore di bypass del preamplificatore interno. Portando l'interruttore nella posizione ACTIVE il preamplificatore ed i controlli da ① a ③ si attivano. Scegliendo la posizione PASSIVE DIRECT, il segnale emesso dal pickup piezoelettrico viene mandato direttamente alla presa LINE OUT. Dato che il preamplificatore ed i controlli da ① a ③ non funzionano (il volume ha un valore fisso) nella posizione PASSIVE DIRECT, questa impostazione è utile in casi di emergenza in cui la batteria è scarica o, oppure se si usa un preamplificatore esterno o altro per controllare l'audio in modo più fine.
- \* Il cambio di posizione dell'interruttore può produrre rumore. Prima di cambiare la posizione dell'interruttore, abbassare il volume con l'amplificatore esterno.
- \* Scegliendo la posizione PASSIVE DIRECT, l'intensità del segnale si attenua proporzionalmente alla lunghezza del cavo. In posizione ACTIVE, invece l'attenuazione del segnale è scarsa.

### Dati tecnici

\* Design e dati tecnici soggetti a modifiche senza preavviso.

**Manico:** Acero **Corpo:** Abete rosso e mogano **Tastiera:** Ebano **Ponticello:** Acero (altezza regolabile) **Telaio:** Faggio, parti in alluminio, ecc. **Chiavi di accordatura:** Viti senza fine personalizzate **Coda:** Ebano (tipo rovescio) **Corde:** Corde da contrabbasso (con sfera in cima) **Sensori:** Due pickup piezoelettrici **Controlli:** Volume, Aciuti, Bassi, Selettori attivo/attivo diretto **Alimentazione:** Accensione e spegnimento attraverso loscollegamento del cavo. Doppia alimentazione: 1 x batteria da 9V 6F22(S-006P)/6LR61 **Durata batterie (uso continuo):** Con batterie al manganese: circa 1000 ore, Con batterie alcaline: circa 2000 ore **Lunghezza corde:** 1040 mm **Dimensioni (A x L x P):** Dimensioni compresi accessori (telaio e asta finale alla sua minima estensione) 1698 x 456 x 330 mm, Dimensioni del corpo (senza telaio e asta finale) 1392 122 x 230 mm, Dimensioni del telaio (riplegato) 465 x 145 x 129 mm **Peso:** circa 6,9 kg